

ろくおん 通信

2023年8月1日発行

発行 日本ライトハウス情報文化センター

録音製作係

発行責任者 竹下 亘

電話 06-6441-1017

FAX 06-6441-1027

http://www.iccb.jp/

No.258

今号の内容

- ◎ 製作マニュアル改訂のお知らせ 1ページ
- ◎ 「マニュアル通り」と「原本通り」 1ページ
- ◎ わかる 使える 広がる！ デイジー図書徹底解説（第40回） 4ページ
最終校正（デイジー校正）のポイント：音訳者・校正者・編集者からの質問

製作マニュアル改訂のお知らせ

大変お待たせいたしました。当館の製作マニュアル「デイジー図書 録音の順序」と「デイジー図書 編集のルール」を改訂いたしました。内容につきましては9月以降の例会で詳しく説明していきたいと思います。

すでに、始めの枠の文言を変更したり、「終わりの枠」を「デイジー図書奥付」に変えたりと、動き始めている箇所もありますが（『ろくおん通信』No. 254参照）、今回の改訂によって、新たに「目次を原本通りの位置で読むこと」などが今後製作する図書に適用されることとなります（同No. 256参照）。音訳者のかたは、9月以降に打ち合わせをした図書から、改訂後のマニュアルに則して音訳してください。校正者（第2校正者）・デイジー編集者・デイジー校正者の皆さまは、改訂後のマニュアルで音訳された図書が回ってきてから、新基準でチェックしていただきますようお願いいたします。

「マニュアル通り」と「原本通り」

録音製作係 木田陽子

デイジー図書（録音図書）の製作には、様々な考え方をを持ったボランティア・職員が関わっています。意見の違う者同士で1冊の図書を作り上げるための最低限の決まり事として、マニュアルを作成しています。実際の読み方、デイジー編集の仕方については原則、「マニュアル通りに」ということとなります。マニュアルは新人のためだけのものではあ

りません。この機会にみんなで内容を確認し、どういったポイントに気を付けたらいいかという共通認識を持てるようになり、今後の製作がスムーズに進むようになれば良いと思います。「あの部分はどよう読むんだっけ」と思った時、近くにいる人に尋ねればすぐに答えは出るし時間短縮になるかもしれませんが、まずは「マニュアルではどよう書いてあったっけ」とチェックするのを習慣にしていればと思います。

なお、決まり事を細部まで載せてしまうと電話帳のように分厚くなってしまいますので、マニュアルに掲載されているのは必要最小限のことになっています。細かい考え方についてはこの「ろくおん通信」などで補完していくこととなります。

* * *

1、「マニュアル通り」

これまで数年間、訂正録音を最小限にするにはどうしたらいいか、デイジー編集を楽にするにはどうしたらいいかと考え、「こんなやり方はどようですか」「こようやり方もありますよ」と提案をしてきたつもりだったのですが、日々の業務の中で皆さまからのご質問に対応していると、ある一定のところからは相談事が減らないように感じられます。なぜなのか、と振り返ってみたところ、おそらく訂正作業を最小限に…ということ優先して、「マニュアル通り」でないことまでたくさん許容してきたからではないか、ということに思い至りました。

みなさん、まずはマニュアルを確認してください。マニュアルに載っていないことに関して、図書ごとになんてしていかを考えましょう。

- ・音訳者は下調べしてから録音を開始してください、と以前から何度かお願いをしてきましたが、目次や見出しの読み方、図・表・写真の読み方についても、マニュアルでどようになっているかを事前に確認しておくようお願いいたします。訂正箇所を減らすことにきっと役立ちます。
- ・索引に出てくる用語とそのページ数も、音訳者が下読みの時に確認してください（確認方法は今号の4ページ以降を参照）。書かれているページにその用語がなかったり、用語の表記が本文と索引とで違ったりすることがあるからです。ただでさえ編集作業の都合でページ数を読み替えることがあるのですから、最初の準備を怠って訂正箇所が増えてしまうと、後からうんざりするのではないのでしょうか。
- ・デイジー校正の段階でページ付けを確認した際、「こっちの方がページの境目に近いから…」という指摘をされるデイジー校正者も多いですが、今後については「前後2行（前のページの最後の1行、あるいは当該ページの最初の1行）ならどこでもOK」ということにして、指摘事項を減らすことにしましょう。
- ・反対に「章の変わり目などの間は触らない」（画一的な間は逆に不自然な読み方に聞こえるため）と決めていることから、5秒も6秒も無音が続いているところがそのままになっている事例があります。さすがにそれだけの長さの無音が続くと再生機が止ま

ったのかと勘違いされることもありますので、「多少カットしてください」という校正は挙げる必要があります。とはいっても、4秒以下でも音訳者の読み方の速さによっては長い場合もありますので、「〇秒だから」と決めることは絶対にしないでください。実際に再生してみて、個々の音訳者の読みで自然に聞こえる間^まを確かめてください。

* * *

2、「原本通り」

書かれている通りに読む、といえ、先日、久々に外来語の読みについての質問が来ました。「ソファ/ソファー」などの母音の長短、「ギリシア/ギリシヤ/ギリシャ」などの表記の違いをどこまで原本通りに読むかについては、当館でも何度も議論されてきました (No. 216 や No. 250 を参照)。

No. 250 で触れた、2拍で読む「ソファ」と3拍で読む「ソファー」の問題についてですが、これについても、最初から「辞書には『ソファー』しか載っていないから、『ソファ』と書いてあっても『ソファー』と読んでもよい」としてしまおうのではなく、まずは「カタカナ語は表記通りに発音するのが原則」というところからスタートしなければならないように感じました。たとえば「USBメモリ」と「USBメモリー」、「プリンタ」と「プリンター」は、伸ばしても伸ばさなくても音の情報としては違和感なく同じ意味になりますので、きちんと読み分けていただきたいと思います。

なお、原則としては「原本通り」なのですが、短く発音しようとするあまり「ソファがっ、あります」などのかえって強く不自然になってしまうようであれば、ほんの少し（1拍に満たない長さで）長く読むのは許容範囲、ということにしています。ソファもそうですが、パーティ、コミュニティなど最後がティ、ディの単語は発音しづらく、音が伸びてしまう傾向にありますので、厳密に2拍で読めていなくても、ちょっとだけ長くても良いことにしましょう。

一方で、原本の表記通りの読みではそれが何かということが想起されづらい場合にはどう読めば良いでしょうか。たとえば旅行会社のチラシに書かれた「7泊8日ツアー」。そのまま「ツアー」と2拍で読んでもさすがに“ロシア皇帝”の意味だと勘違いする人はいないでしょうが、日本語としては「ツアー」と3拍で読む方が自然です。そのまま読んではわかりづらい場合に、「ツアー」に近い音にした方が混乱を招かなくて済むでしょう。

以上のようにカタカナ語は、単純に「長音の方が耳慣れているから、そう読んでも良い」というわけではありません。音訳者は苦手な発音を克服し技術を更に磨くとともに、耳で聴いて理解できるかどうかを基準に読んでいただければと思います。



わかる 使える 広がる！

デージー図書徹底解説(第40回)

図書の特徴に合ったデージー校正のポイントを紹介するこのコーナーですが、今回も、音訳者、校正者、編集者それぞれの疑問を、Q&A形式で紹介します。音訳、校正、編集、デージー校正にぜひお役立てください。

Q1 「索引」の照合について（音訳者・編集者から）

今回初めて、索引のある図書に出会いました。「ろくおん通信」No. 256（2023年4月1日発行）に、録音前の準備として「索引付きの本を音訳する際には、まず音訳者がページの照合を行ってください。」と書かれていますが、照合の仕方を具体的に教えてください。

A1 索引の照合は、「デージー図書として、スムーズに使えるか」がポイントとなります。索引に記載されているページに「該当語句」があることを確かめましょう。

◆照合の手順……チェック用に索引のコピーを用意しましょう

- 1、以下が一致していることを確認します。
 - ① 索引に記載されているページと、本文のページ
 - ② 索引に記載されている語句と、本文の語句
- 2、一致していないものを見つけたら、以下の対処法を参考に、変更する内容をコピーに書き入れます。

◆一致しなかった場合や見当たらない場合の対処法

- 1、索引に記載されている語句が、本文のページ中に見当たらない場合
→ 索引に記載されている語句を削除する（読まない）。
※ 該当するページを探す必要はありません。
たまたま前後のページで見つかることがあります。その場合は、見つけたページに変更して読みます。
- 2、索引に記載されている語句は見当たらないが、その語句の内容が記載されている場合

→ ケースバイケースですが、以下の2つの方法が考えられます。

① 記載内容が誤解なく伝わると判断できる場合は、該当語句がなくてもそのまま読む

② その語句を削除する（読まない）

3、索引に記載されている語句と本文の語句が一部違っている場合

→ 本文の語句に変更して読む。

4、その他の相違

「あ行」のところ「カラス」など「か」から始まる語句が記載されている場合などは、その語句を「か行」に移動して読みます。ですが、図書によっていろいろな書き方の索引がありますので、「おかしいな」「デイジー図書として使いにくいのでは」と思われた場合は職員にご相談ください。

◆索引に記載されている語句が、本文のページの境目にある場合

1、最初に録音する際は、原本記載通りに読みます。

2、編集者がデイジー図書用のページ付けをしたときに、ページが変更になる場合があります。

◆索引の読み方 注意点（「デイジー図書 録音の順序」6ページ参照）

1、表記されている最後のページにのみ、「ページ」と言い添える

（例） 音訳 1、5、10

→ オンヤク イチ、ゴ、ジッページ

2、図表などに該当語句があり、図表を原本ページと違うページで読んだ場合は、デイジー図書のページに変更して読む

3、注や参考文献などに該当語句があり、その注や参考文献を原本ページと違うページで読んだ場合も、デイジー図書のページに変更して読む。

4、通常はファーストネーム（名）を先に書く人名が「ファミリーネーム、ファーストネーム（姓、名）」の順で索引に記載されている場合、まず五十音順で並んでいる「ファミリーネーム（姓）」を読んだ後、「ファーストネーム、ファミリーネーム（名、姓）」の順に並べ変えて読む。

（例） キーン、ドナルド

→ キーン ドナルド・キーン

Q2 記号「 」の読み方について（校正者から）

“カギカッコ……カギカッコトジ”と読まれている箇所と、“カギカッコ……トジ”と読まれている箇所があります。こういう不統一は、校正表に挙げた方がいいでしょうか。

A2 聞いていて違和感なく文意が伝われば、混在していても問題はありませんが、違和感なく聞けるというのは人それぞれ感じ方が違うので難しいところです。基準として、次のような考え方はどうでしょうか。

- ① 近くにあって、カッコ内が同じような長さの場合は、どちらかに揃えて読まれる方が、ストレスなく聞けそうです。
- ② カッコ内の長さが違う場合は、短い方を「カギカッコ……トジ」、長い方を「カギカッコ……カギカッコトジ」と読む方法もあります。

音訳者は区別するつもりなく読んでしまっていることもありますので、「混在していますよ」と校正者がお知らせすることは、音訳者にとってもありがたいご指摘かもしれません。その場合は校正表の行ではなく、欄外や、連絡票などでのお知らせがいいでしょう。



館からのお知らせ

★ 「New ウェブスタジオ版 Recdia」バージョンアップ作業のお願い

先日 Recdia のバージョンアップについてメールリストでお知らせを一斉送信しました。「出だし無音化」という新機能が追加され、録音開始時にブツッという雑音が入ってしまうのを防げるようになっていきます。お困りの方はインストールしてみてください。また特に症状の無いかたも、急いで作業する必要はありませんが、お手すきの時に設定しておいてください。自分で作業するのが難しいかたは、予約をしていただければ係職員がサポートいたします。

★ 専門音訳講習会「雑誌の製作コース」のご案内

9月から、専門音訳講習会「雑誌の製作コース」を開催することが決定いたしました。雑誌を共同音訳する際のスケジュール調整の仕方から読みの調査、録音機材の紹介などを扱う

予定です。既に雑誌製作に長く関わっている方だけでなく、これから本格的に取り組もうという音訳2年目以降のかたにもぜひご参加いただきたいと思います。

日 程：9月14日・28日・10月5日・26日・11月2日・9日（全6回）

各木曜日 13:00～15:00

対 象：現在音訳活動中で、図書・雑誌（広報誌含む）の音訳経験1年以上のボランティア

定 員：15人（申し込み多数の場合は人数調整を行います）

申込締切：2023年8月21日（月）必着

詳しくは、当館ホームページに掲載しております募集要項をご覧ください、録音製作係宛に申込書を提出してください。

★ 「Zoom でなんでも相談」 8月の開催予定

ここ数か月は隔週で行ってきましたが、8月はお盆休み（夏期休館期間）を挟みますので、2日（水）、3日（木）、4日（金）と23日（水）、24日（木）、25日（金）の14～16時に開催いたします（参加人数や質問の量によっては16時以前に終了する可能性あり）。

事前申し込みは不要。6階休憩スペースにパソコンを設置していますので、来館時も参加可能です（Zoom ミーティング ID 等は変更なし）。ご相談が多かった内容などを「ろくおん通信」の記事にしたりしていますが、その場で聞いていただくのが一番参考になるかと思いません。雑談だけでも大歓迎です！ 皆さまのご参加をお待ちしています。

★ 録音スタジオ利用者を募集します

新型コロナウイルス感染症が5類に移行してから、何組ものペアがスタジオ録音に戻られました。それでも6階のスタジオには空きが出ています。この機会にスタジオ録音を希望される方は、係までお申し出ください。

スタジオ録音には以下のようなメリットがあります。

- ・ペア録音の場合、家庭録音よりも校正回数が1回多くなる …… スタジオ外で機械操作をするモニターが第1校正者となり、同時校正を行います。自己校正では気づかない読み間違いを、違う人の耳で見つけてもらえます。
- ・相談できる人が複数人いる …… 収録中に疑問点が出てきたら、その場でモニターに意見を聞いたり、その日来館しているほかのボランティアや職員に相談したりすることができます。

- ・雑音を気にしなくて良い …… 家庭録音の大敵である外からの音（車、飛行機、動物の鳴き声…）は、防音スタジオの中のマイクには入りません。

なお、一人録音用の部屋も新設しました。スタジオ内に設置したパソコンを使用して、家庭録音と同じような形で収録作業が可能です。ペアを組む相手がいない間などにご利用ください（数が少ないため、職員までお尋ねください）。

★ 8～10月の休室・開室について

※通常の休館日（日曜、月曜）以外の休室についてお知らせします

（１）8月の休室

- ・8月11日（金）～16日（水）：夏期休館
- ・8月22日（火）の午後：当法人の職員全体研修のため休館

（２）9月の休室

- ・9月23日（金）：秋分の日
- ・9月29日（金）、30日（土）：日本ライトハウス展^(*)のため全館休館

(*) 9月29日（金）11～16時、30日（土）10～16時に、天満橋のOMMビル2階展示場にて、視覚障害者用具・機器展「日本ライトハウス展」を開催いたします。ぜひ、ご来場ください。また、当日の会場内のガイドボランティアも募集しています。詳細は「ONE BOOK ONE LIFE」8・9月号と、同封のチラシをご覧ください。当館ホームページ (<http://www.lighthouse.or.jp/iccb/>) の「お知らせ」にも情報を掲載しております。

（３）9月・10月の土曜について

9月から10月初旬の土曜日が、ハッピーマンデーの振替休館・祝日・日本ライトハウス展の開催により4週連続で休室になってしまうため、9月16日と10月7日を開室することにいたしました。

9月・10月の土曜日で休室するのは、9月23日（秋分の日）と9月30日（日本ライトハウス展）のみです。土曜チームの皆さま、よろしくお願いたします。

※ 9月16日と10月7日は出勤している職員の人数が通常より少ないため、電話を含めたお問い合わせに十分に対応できない可能性があります。ご了承ください。